

景観資源の魅力発信に関する取組について

都市景観ビジョン・大阪《平成30年1月策定》

基本目標

きらめく世界都市・大阪の実現

基本方針

1. **広域的な視点**で景観づくりに取り組みます！
2. **地域や身近な景観づくり**に取り組みます！
3. みんなで**景観をつくり、守り、育て、活かします**！

視点と取組

① **民間が主体的に景観づくり**に取り組み、積極的に投資できる環境をつくる。

- 方針・計画の提示
- 適切な規制誘導による景観づくり
- 公的資産の民間開放
- 公民連携のプラットフォームづくり



② 公共事業の実施にあたっては、**地域の景観づくりの模範**となるよう努める。

- 公共建築物の景観への配慮
- 都市インフラや面的開発の景観への配慮
- 公共事業における景観面でのPDCAサイクルの確立

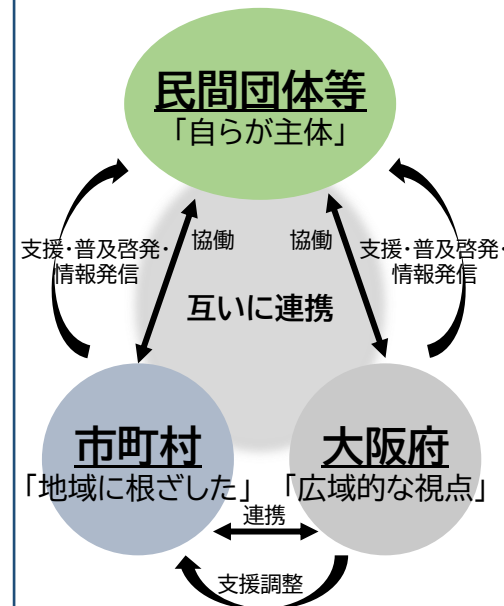


③ **景観づくりの担い手を育成**し、大阪の魅力を創出し、発掘する。

- ビュースポット(視点場)の発掘と情報発信
- 市町村の景観行政団体化の促進
- 担い手の育成と景観まちづくりの継続



推進体制

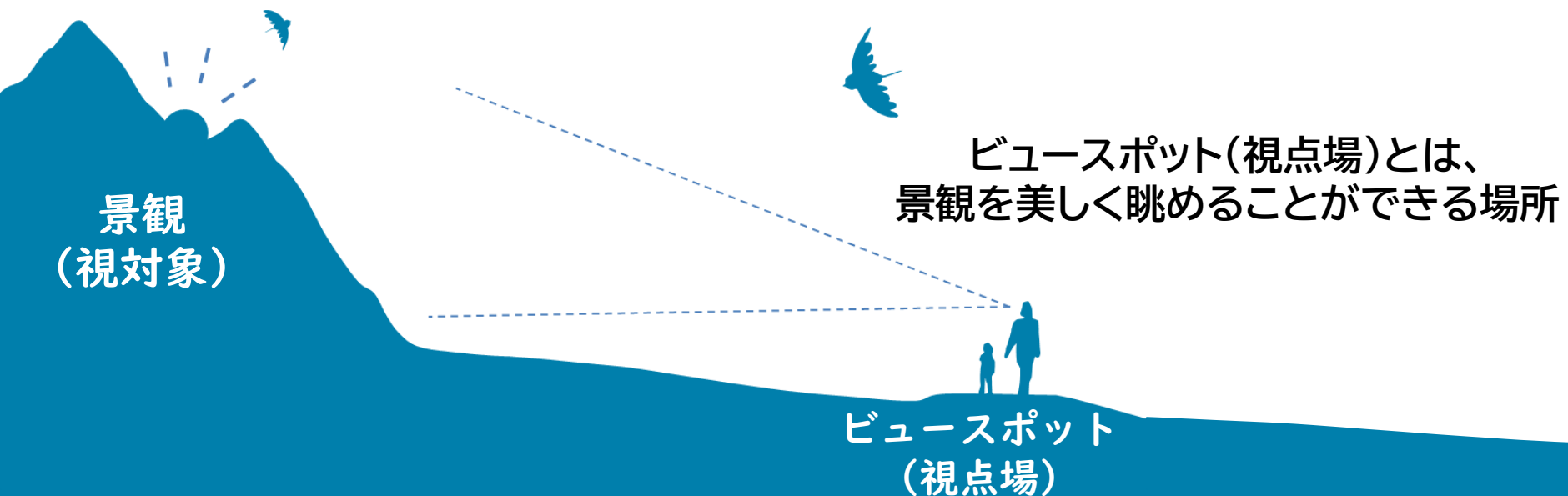


1. ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト

ビュースポットおおさかの概要と目的

- 概要 大阪の景観を美しく眺めることができる場所(ビュースポット)を、一般からの募集により発掘し、『ビュースポットおおさか』として選定。
- 目的 ビュースポットを府内外に情報発信することで、府民・事業者、府への来訪者の方々の景観への興味・関心の向上を図る。

- 府民や事業者の景観に対する興味や関心の醸成
 - まちに対する魅力の再認識や誇りと愛着(シビックプライド)の向上
- ⇒⇒⇒ 「気軽に景観づくりに参画できる場づくり」「良好な景観形成」

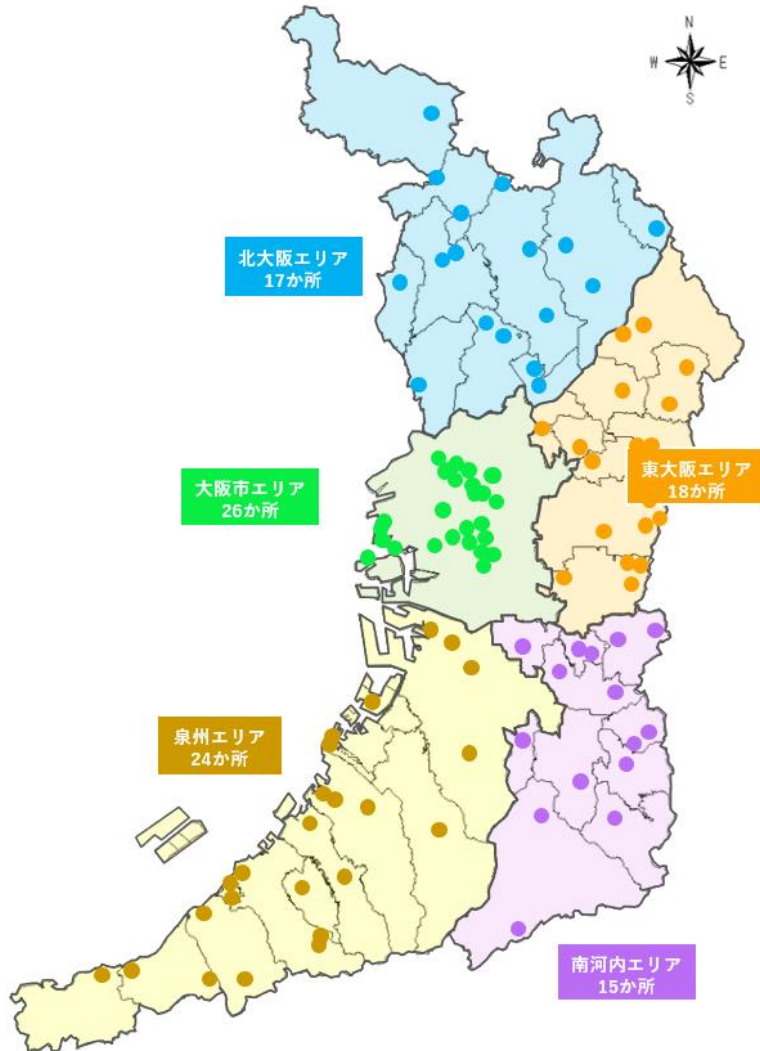


選定までの経過

	選定スポット例	選定に併せた来訪・周遊促進
<h2>第1回選定</h2> <p>2019年9月25日公表 28か所選定済</p>	 <p>高山の棚田を眺める坂道 (豊能町)</p>  <p>浜寺水路に映る工場夜景を 眺める浜寺公園(高石市)</p>	<p>◇モバイル景観クイズラリー 参加者46人 2019年10月1日～12月31日</p> <p>◇PR動画・写真募集 応募46件 2021年3月17日～5月28日</p>
<h2>第2回選定</h2> <p>2021年6月30日公表 26か所選定済</p>	 <p>御領水路と御領菅原神社を 眺める御領橋周辺(大東市)</p>  <p>日本一美しい古墳を眺める ニサンザイ古墳前(堺市)</p>	<p>◇景観フォトラリー 応募126件 2021年9月22日～11月26日</p>
<h2>第3回選定</h2> <p>2022年11月9日公表 26か所選定済</p>	 <p>ため池に浮かぶ読書の森を 眺める歩道(松原市)</p>  <p>たくさんの新幹線を眺める モノレール車窓(摂津市)</p>	<p>◇景観フォトラリー 応募159件 2022年11月23日～2023年2月16日</p>
<h2>第4回選定</h2> <p>2024年3月29日公表 20か所選定済</p>	 <p>阿波座ジャンクションを 眺める中央大通(大阪市西区)</p>  <p>大阪平野夕景を眺めるホテル川柳 東大阪スカイテラス(東大阪市)</p>	<p>◇フォトコンテスト 応募1,156件 2024年10月1日～11月30日</p> <p>◇デジタルスタンプラリー 参加者2,438人 2024年10月1日～2025年2月28日</p>

選定スポットの概要

○ 府内全域にわたり、全100か所を選定済み(全43市町村に1か所以上選定)



		合計	
地域別	北大阪エリア	17件	100件
	大阪市エリア	26件	
	東大阪エリア	18件	
	泉州エリア	24件	
	南河内エリア	15件	
カテゴリ別 (視対象の分類)	地形特性 (山並み、海岸、平野、中流河川等)	38件	100件
	歴史特性 (歴史的街道、古墳群、寺内町、城郭等)	23件	
	都市・インフラ特性 (広域幹線道路、鉄軌道、大規模公園、港湾等)	19件	
	土地利用特性 (超高層ビル群、工業用地、大規模建築物等)	20件	

ビュースポットおおさかの魅力発信

①情報発信ツール

ビュースポットおおさか公式ガイドブック

○ 全100か所のビュースポットを紹介する **公式ガイドブックを発刊し販売**(R6.4～)

- ・ビュースポットから見える **景観の写真を多数採用**(全100頁)
- ・市町村や関係団体等との連携により、**府民や来訪者に幅広くPR**
- ・府政情報センターにて1冊160円で販売中



詳細なマップ付き



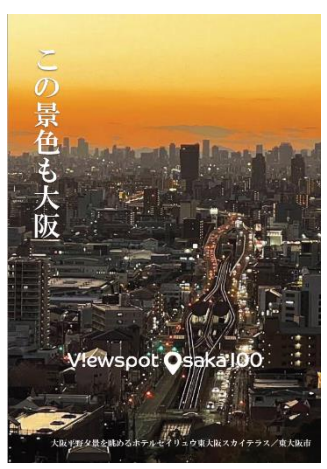
関連情報

ビュースポットおおさかPRチラシ・ポスター

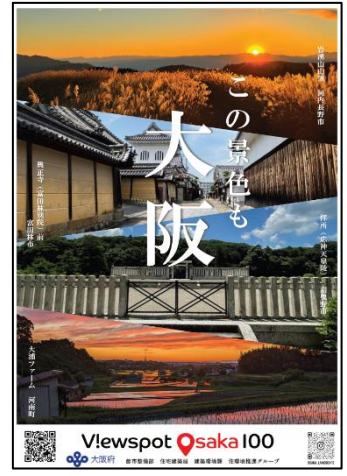
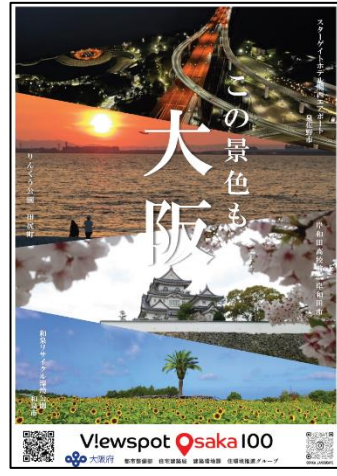
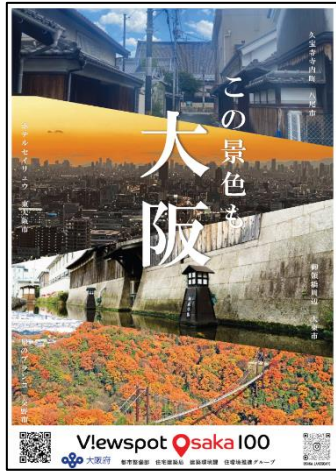
○ チラシ・ポスターを作成し、市役所、図書館、商工会議所等で配架・掲示

【PR用チラシ】

※以下のチラシ等は全て令和7年度に作成したものです



【PR用ポスター】



ビュースポットおおさかPRグッズ

○ **オリジナルカレンダーや缶バッジ等**を作成し、ビュースポットおおさかのPRを展開
 (キャンペーンやお年玉プレゼントとして活用)

カレンダー



職員用名刺



浜守水路に映る工場夜景を眺める浜守公園 高石市

堺市から泉大津市にかけて広がる堺泉北臨海工業地帯は、全国的にも注目を集めている工場夜景を楽しむことができるスポットです。特に堺市西区や高石市では、圧巻的なスケール感で工場夜景を眺めることのできる場所が点在しています。

職員おすすめ!
 観光タクシーで巡る「堺・高石工場夜景」
 観光タクシーでおおすすめのポイントを通ることが出来ます。
 白印とはまた違った形を見る体験として、写真撮影が好きな方へおすすめです!

場所：高石市羽衣公園1丁目 / 南海本線・高師線「羽衣」駅、浜羽衣線「東羽衣」駅から徒歩15分

Viewspot Osaka 100

お年玉プレゼント!
 1月12日(月+祝)
 府政だより (R8.1月)

缶バッジ



ビュースポットおおさか特設サイト

○ **特設サイト**を開設(R6.9.26)し、ビュースポットおおさかの魅力をPR



👉ビュースポットおおさかの魅力が伝わるビジュアルデザイン

👉府公式景観インスタグラムの投稿内容をリアルタイムで反映



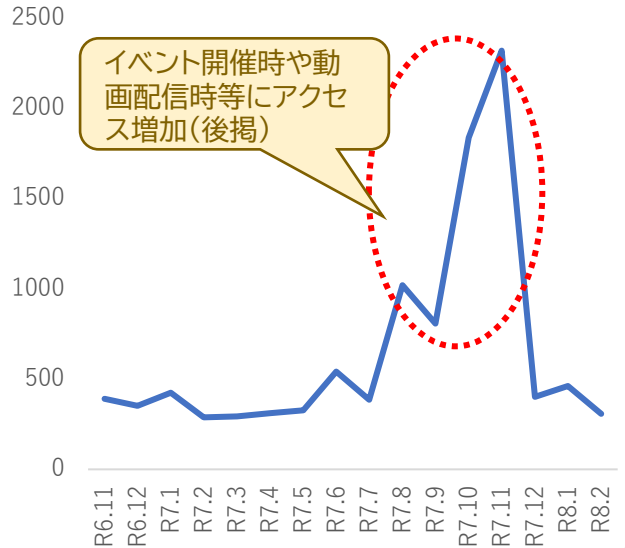
ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクトとは

世界に誇れる大阪の魅力ある景観、きらりと光る個性豊かで多彩な大阪の景観を美しく眺めることのできる場所(ビュースポット)を一般からの募集により発掘し、「ビュースポットおおさか」として認定したものを発信していくことで、府民・事業者・来訪者の方々に大阪の景観に興味をお持ちいただき、府域全体の良好な景観形成を推進していくことを目指します。

ビュースポットおおさかをエリアから探す



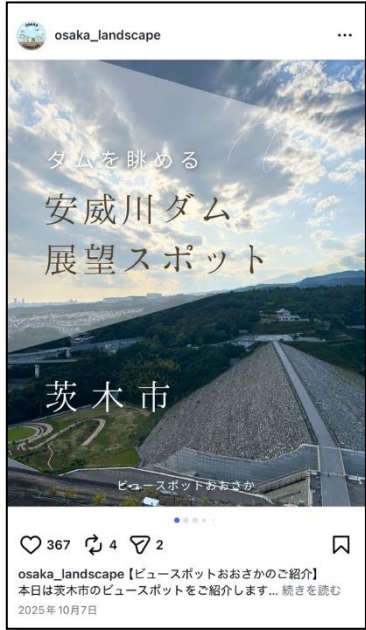
■アクセス数の推移(月ごと)



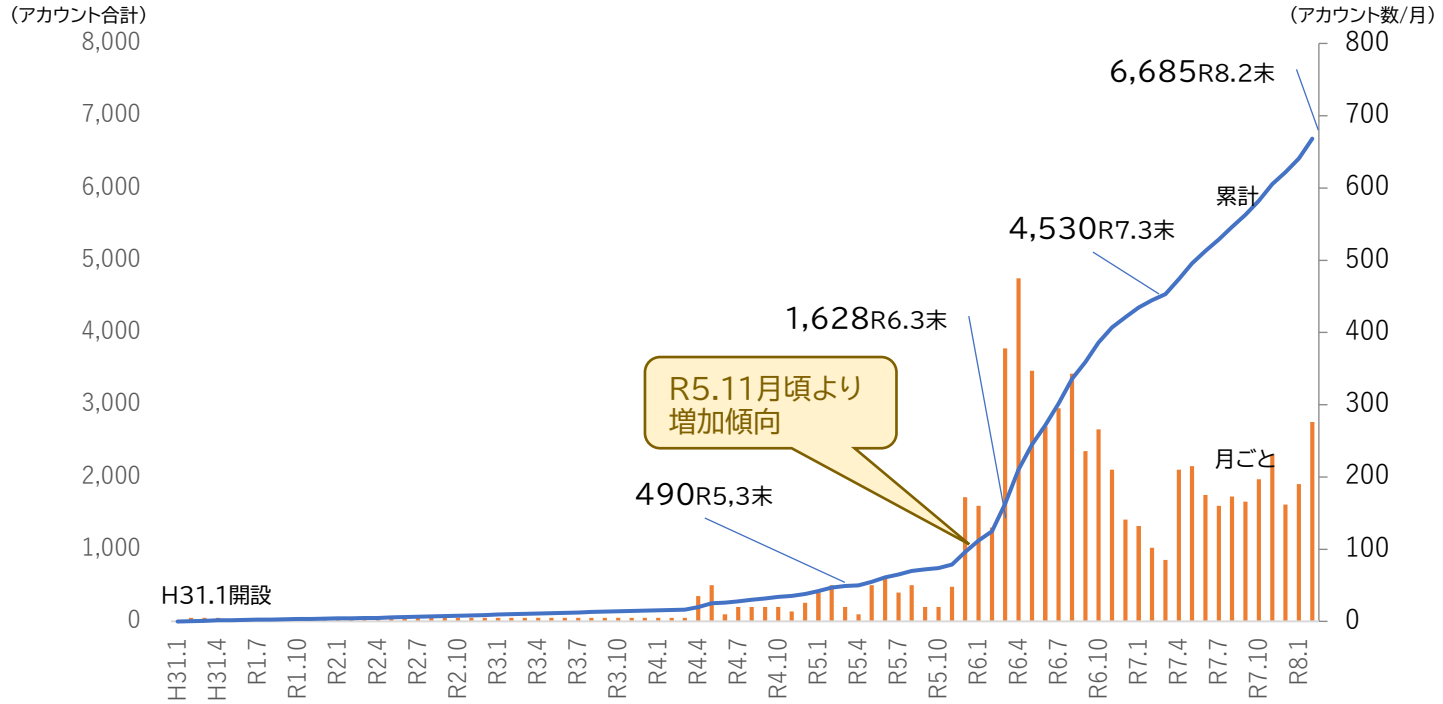
府公式景観インスタグラム

- 大阪府公式『景観インスタグラム』で、**景観をテーマに“刺さる”コンテンツを配信**
- 令和5年度下半期(ビュースポットおおさかの最終選定期)よりフォロワー数が大きく増加し、**認知度が拡大している一方、若い世代への広がりが課題**

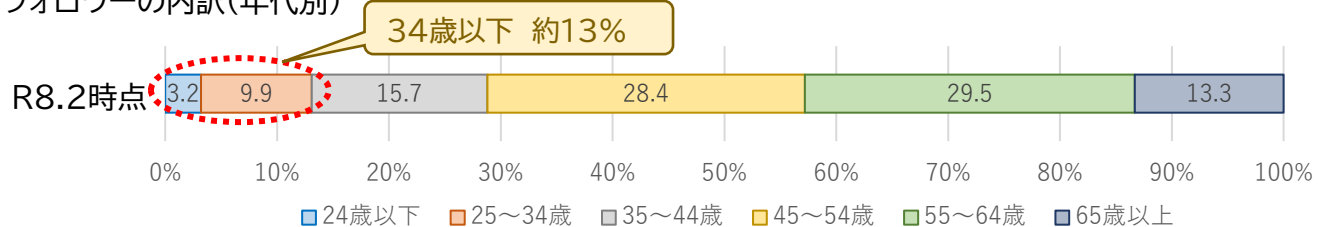
■投稿(例)



■インスタグラムフォロワー数の推移(H31.1~R8.2)



■フォロワーの内訳(年代別)



○ ビュースポットおおさかを紹介するPR動画を制作し、配信(R7.10～)

「ビュースポットおおさか」の美しい映像を、「威風堂々」の曲に載せて紹介



大阪府公式
『景観魅力発信チャンネル』



- 第1弾:テーマ『大阪の景観』
⇒令和6年2月～
- 第2弾:テーマ『大阪の四季』
⇒令和7年5月～
- 第3弾:テーマ『大阪の夜景・夕景』
⇒令和8年3月～



ビュースポットおおさかの魅力発信

②前回の景観審議会(令和7年3月)以降の取組

万博開催に併せた魅力発信①

○ 万博を目的として来阪される方をターゲットとして、会場内のメディアセンターや宿泊施設等でビュースポットの魅力発信を展開

■大阪・関西万博会場内 メディアセンターでのPR 《5月8日～11日》



↑ PRポスター



↑ PR動画放映

■宿泊施設でのPR動画放映



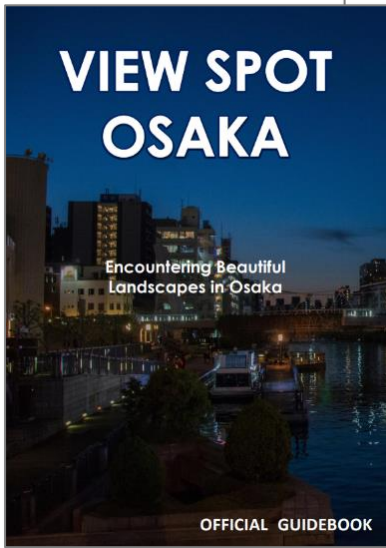
万博開催に併せた魅力発信②

○ 海外からの来訪者等へのPRのための環境を整備

■ 英語版公式ガイドブックをデジタル配信(R7.5~)



協力:近畿大学 国際学部 本田ゼミ



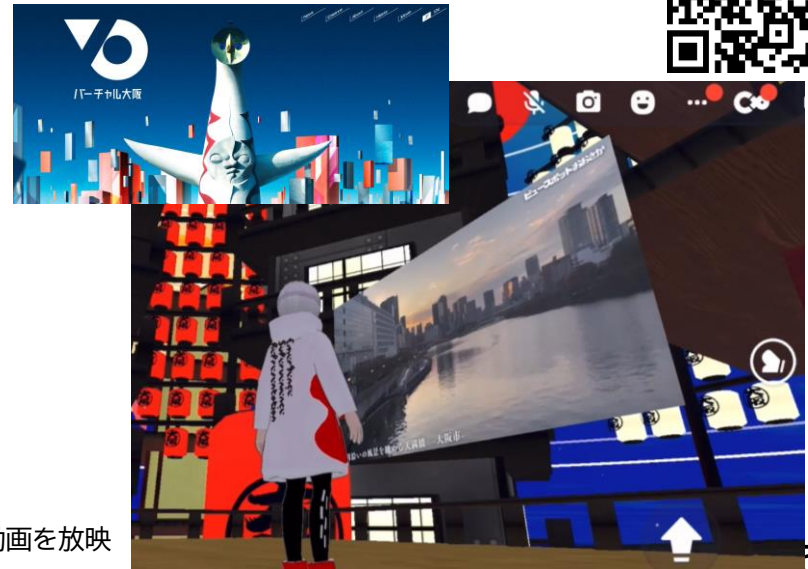
■ 観光客向けイベントでのPR(R7.8)



『大阪産(もん)・大阪産(もん) 名品を見て・知って・味わって、産地へGO!』
於:関西国際空港

■ バーチャル大阪※でのPR(R7.5~)

※WEB上で大阪を体験できるバーチャル空間



PR動画を放映

SNSを活用した魅力発信① フォト・ムービーコンテスト2025

- 「ビュースポットおおさか」をテーマとした**フォト・ムービーコンテスト(インスタグラム)**を開催
- 「いいね！」数による**参加型審査**を通じ、景観魅力の拡散及びファン層の拡大を目指すもの

フォト・ムービーコンテスト

※令和6年度に実施したコンテストを一部変更して展開

- 概要**
- ・「ビュースポットおおさか」の視対象が被写体となっている写真・動画、または「ビュースポットおおさか」で撮影した写真・動画の投稿を募集
 - ・「いいね！」数による参加型審査

投稿期間 令和7年8月1日～9月30日(2か月間)



←まちなかでのデジサイ広報
(グランフロント、ららぽーと等)

↓読売新聞(読売ファミリー)

【ビュースポットおおさかフォト・ムービーコンテスト2025】
写真・動画を大募集!

大阪府では、9月30日(火)まで「ビュースポットおおさかフォト・ムービーコンテスト2025」を開催。府内43市町村100か所に選定されている「ビュースポットおおさか」で撮影した写真と動画の投稿を募集しています。9月30日までの応募期間中にインスタグラムの府公式アカウント(@osaka_landscape)をフォローして、作品を投稿。10月10日(金)までの審査期間中の「いいね！」数で入賞作品が決定します。入賞発表は11月頃。入賞者にはホテルのペア宿泊券や府内施設のグッズなど様々な賞品が用意されています。応募方法など詳細は、右記コード画像から。

ビュースポットおおさか | 検索

参加型審査プロセス

- 1. インスタグラムに写真・動画を投稿**
 - 『#ビュースポットおおさかフォトコンテスト』投稿
- 2. 事前選定、リポスト**
 - 事務局(建築環境課)による事前選定
 - 府公式アカウントでリポスト
- 3. 「いいね！」数による参加型審査**
 - 設定期間中の「いいね！」数により上位投稿を決定
- 4. 入賞者には景品も用意**
 - ガイドブックを景品化することで、ファンをさらに拡大



前回(R6コンテスト)との比較

	R6実施 (R6/10~11)	R7実施 (R7/8~9)
投稿件数	1,156件	1,650件
総いいね数 (累計)	26,457件	26,890件

(注: R7実施はフォト1212・ムービー438)

数値指標から見る成果

投稿へのリーチ数 **約25,000アカウント**
 →R7年4月~7月と比較し、約70%増加

プロフィールアクセス数 **約8,000アカウント**
 →R7年6月~7月と比較し、約40%増加

SNSを活用した魅力発信① フォト・ムービーコンテスト2025

<入賞作品>

映える大阪フォト大賞(1位)



映える大阪ムービー大賞(1位)



映える大阪フォト特別賞(2~6位)



映える大阪フォト特別賞(2~6位)



その他、映える大阪奨励賞・映える大阪景観賞として14作品が入賞

SNSを活用した魅力発信② PRショート動画の制作・配信

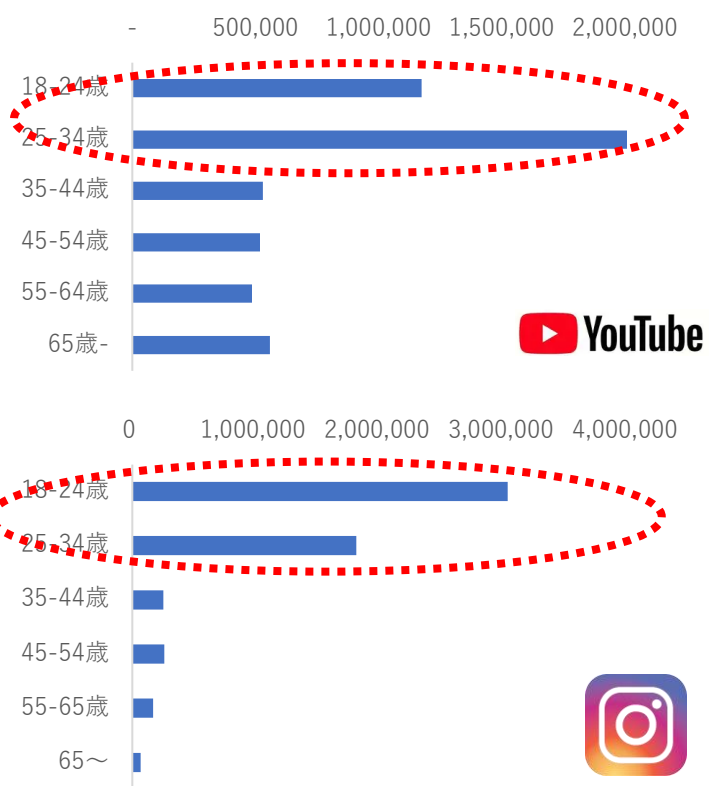
○ 若年世代における認知拡大を目指し、ビュースポットの魅力が端的に伝わるショート動画を制作し、プロモーション(広告配信)を展開



■動画(例) ビュー警官の事件簿① 450年間変わらないまち(本篇)



■配信回数(年代別)



【動画の概要】

形態	秒数	制作本数	紹介スポット
ショートタイプ	7秒	5本	天満橋(大阪市)、千里川土手(豊中市)、堺旧燈台(堺市)、久宝寺寺内町(八尾市)、澤田八幡神社(藤井寺市)
ロングタイプ	約25秒	5本	

【配信の概要】

YouTube	10/3~12/3	約617万回配信
Instagram	10/14~12/14	約557万回配信

1,100万回を超える配信

- ◆ 若年世代をターゲティングした配信を展開し、着実に情報は行き届いている
- ◆ 一方、フォロワー増等には寄与しておらず、認知定着の効果は限定的

まちなかでの魅力発信① 大阪メトロとの連携

○ 大阪メトロ各駅で、**最寄りのビュースポットを紹介するポスターを全駅に掲示**

■ポスター(例) 掲示期間:1/13~3/13



大阪メトロの掲示板「お出かけ情報」において、多様なビュースポットを紹介する全24パターンのポスターを展開



天下茶屋駅



京橋駅

■乗換え客の多い本町駅では、巨大ポスターでPR展開(1/12~2週間)



連動企画
「#ビュースポットおおさか2026」を付けてビュースポットの写真を投稿した方へのプレゼント企画を同時開催
現地への誘客を後押し

まちなかでの魅力発信② ビュースポットを巡るまちあるき等

○ まちあるき等を通じてビュースポットの魅力を発信

■第10回現場から学ぶ景観まちづくり実践講座(6/23)
大阪府建築士事務所協会(景観整備機構)主催



■その他集客イベントでのPR



なにわ建築フェスタ
於:グランキューブ大阪(10/26)



ベイエリア(大阪港周辺)のビュースポットを巡る
まちあるき及びパネルディスカッションを実施

令和8年度の取組方針(ビュースポットおおさかの魅力発信)

- 将来の景観づくりの担い手であり、SNSを通じた情報拡散力の高い若年層への浸透を図るため、**若い世代の関心を高め、行動につなげる参加型・体験型の取組を展開**
⇒公募型プロポーザル方式による民間事業者の発想やノウハウの活用

(取組のイメージ)

■ビュースポットをテーマとした風景写真の募集

※イメージ画像は生成AIで作成



■これまでに実施したコンテスト写真の活用

■ビュースポット現地での環境整備

(例)景観に配慮した案内プレート(事業紹介)設置

■若い世代の集まる集客施設でのビュースポット展イベント

(例)てんしば × 視点場



2.映える大阪プロジェクト

「映える大阪プロジェクト」とは

概要

多くの方々が大阪を訪れる2025大阪・関西万博を契機として、**大阪府や市町村、関係者が一体**となって、ビュースポットおおさか等**大阪の景観魅力を知り・体感できる各種イベントをパッケージ化**して展開・発信するプロジェクト

目的

- 府内に点在する都市景観や自然景観、歴史・文化景観などの個性豊かな**景観資源を守り、創り、育て、活用し、多彩な大阪の魅力をさらに高めていくこと**
- 良好な景観形成に向けて、多くの人々が景観に愛着や関心を持つことにより、**地域における景観づくりの取組の活性化**を図っていくこと



共通ロゴ

(プロジェクトのイメージ)

大阪府や市町村、関係団体が行う景観に関するイベント情報を集約

スタンプラリー	フォトコンテスト	周遊ツアー	まちあるきハイキング	建築物特別公開	パネル展示 景観イベント	景観セミナー
---------	----------	-------	------------	---------	--------------	--------

大阪府による広域的な情報発信 参画団体の相互協力による広報



映える大阪リーフレット



特設サイト

プロジェクトの
充実化
(参画団体やイベント
の拡充等)

「映える大阪プロジェクト」が推進する3つのアクション

プロジェクト期間 令和6年10月1日～令和7年10月13日(万博閉会日まで)

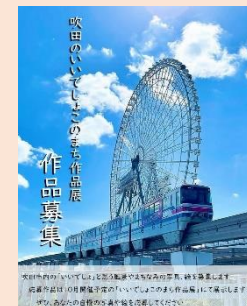
1 大阪の景観を知ろう

具体的な
プロジェクト

- 景観パネル展
- 景観セミナー

イベント例)
吹田のいいでしょこのまち作品展(吹田市)

景観に対する意識の高揚などを目的として、市民等から応募のあった吹田市内の「いいでしょ」という風景等の写真や絵を展示。



2 大阪の景観を巡ろう

具体的な
プロジェクト

- フォトコンテスト
- スタンプラリー

イベント例)
日本遺産「中世に出逢えるまち」
デジタルスタンプラリー(河内長野市)

観心寺や延命寺など河内長野市の日本遺産を巡るスタンプラリー



3 大阪の景観を体感しよう

具体的な
プロジェクト

- 景観まちあるき
- 建築物特別公開

イベント例)
ミツマタ散策ツアー(豊能町)

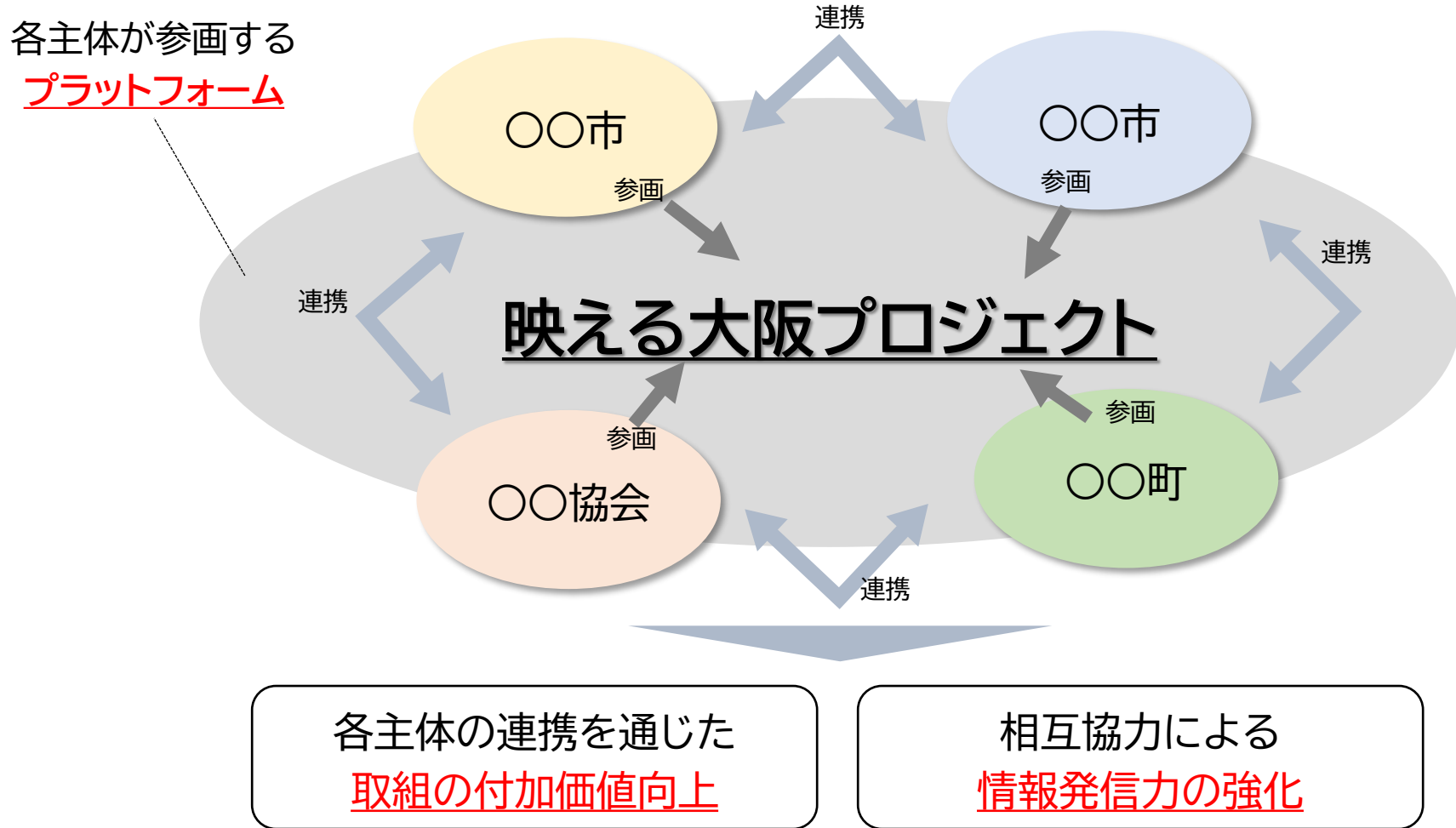
豊能町内の山地に群生するミツマタを豊能町ボランティアガイドが案内するイベント



⇒ **36団体、162の景観関連イベント**が「映える大阪プロジェクト」に参画

「映える大阪プロジェクト」の狙い

○各主体が個々に展開してきた景観に関するイベント等の取組について、広域自治体である府が旗振り役として構築したプラットフォーム(映える大阪プロジェクト)への参画を促すことで、各主体の取組の付加価値向上や相互協力による情報発信強化を図ろうとするもの



「映える大阪プロジェクト」の広報

○ 参画団体による相互協力により、効果的な広報を展開

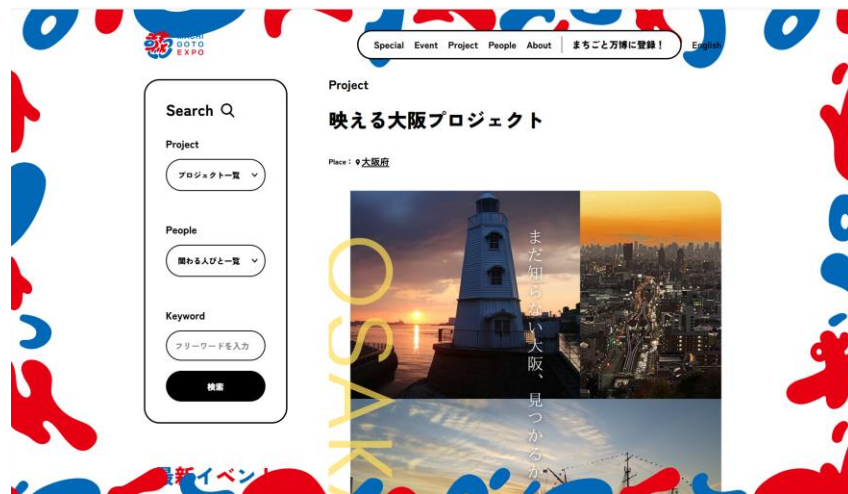


↑ プロジェクトPRポスター

↓ 映画「八犬伝」とのタイアップ

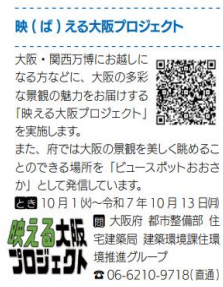


↓ まちごと万博 (大阪まちごと万博共創プラットフォーム)



大阪の美しい景観の魅力をお届けする「映える大阪プロジェクト」

↓ 市町村広報誌



大阪 関西万博にお越しになる方などに、大阪の多彩な景観の魅力をお届けする「映える大阪プロジェクト」を実施します。

また、府では大阪の景観を美しく眺めることのできる場所を「ビュースポット」おさきとして発信しています。

「映える大阪プロジェクト」などの詳細は、府HPを「観るたび」をご覧ください。

◎実施期間 10月1日(火)～来年10月13日(日) 祝

◎大阪府建築環境課 06-2210-9718

→ 業界団体機関紙「建築人」



「映える大阪プロジェクト」の広報

○ 参画団体による相互協力により、効果的な広報を展開

↓映える大阪プロジェクト リーフレット



- 第1弾** 令和6年10月~
参画団体25 参画イベント72
- 第2弾** 令和7年4月~
参画団体30 参画イベント120
- 第3弾** 令和7年7月~
参画団体36 参画イベント162

↓参画団体によるSNS広報



府や市町村等により
#映える大阪プロジェクト
を付けた投稿が1000回超

※映える大阪プロジェクトに一環として展開したコンテスト

↓Instagramストーリー機能を活用したPR



総閲覧回数 2万回以上



「映える大阪プロジェクト」期間中に展開された具体的な取組例

「こころに残る景観展(岸和田市)」

開催期間 毎年9月下旬～12月上旬

『こころに残る景観資源発掘プロジェクト』で指定された106の景観資源の写真や応募者エピソード等をパネルにし、市民センター等で巡回展示



「じないまち四季物語「夏」 寺内町燈路(富田林市)」

開催期間 R7.8.23

約千基の行灯が、歴史ある町並みを照らす富田林の晩夏の風物詩



「日根荘大木の里コスモス園(泉佐野市)」

開催期間 R7.10.4～19

重要文化的景観に選定されている大木地区で休耕田を活用したコスモス園を開放



プロジェクト参画団体の声 ※終了後ヒアリングより

取組に対する評価

- 一元的(リーフレットでの情報集約)・広域的(参画団体による相互広報)な情報発信による拡散効果があった。
- イベントによっては、大幅な参加者増が図られたものもあった。
- 他の自治体や団体の取組が一覧化・見える化され、今後の施策の参考とすることができた。等

その他の声

- 「映える大阪」というキャッチフレーズに広がりが見られず、広報効果としては限定的に感じた。
- 自治体同士の連携によるイベント等にはつながっておらず、定着・拡大には継続的な展開が必要と感じた。等

3. 大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)

大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)について

周辺環境の向上に資し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心とするまちなみを表彰することにより、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、都市景観に対する意識の高揚を図ることを目的とする。

【主催】

大阪府・大阪市

- ・(公社)大阪府建築士会・(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会・(一社)日本建築協会

審査委員

- 加藤 精一(建築) (一社)大阪府建築士事務所協会理事
- 岸辺 護(新聞) 読売新聞大阪本社編集局社会部長
- 嶋 高宏(デザイン) (一社)総合デザイナー協会 DAS 常任理事
- 武田 重昭(造園) 大阪公立大学大学院農学研究科緑地環境科学専攻准教授
- 寺地 洋之(建築) (公社)大阪府建築士会特任顧問
- 橋寺 知子(建築) 関西大学環境都市工学部建築学科准教授
- 藤本 英子(芸術) 京都市立芸術大学名誉教授
- 若本 和仁(都市計画) 大阪大学大学院工学研究科附属フューチャーイノベーションセンター准教授



○大阪府知事賞

茨木市文化・子育て複合施設
おにクル

立体的な変化をつける緑化計画等が施設の魅力を高めており、周辺の空間等の将来の魅力づくりになる点が評価



○大阪市長賞 御堂筋ダイビル

旧ビルの雰囲気を残す、街角に呼応したデザインであり、歩行者の視点からまちなみに新たな魅力を加えた点が評価



○審査員特別賞 アーバンネット御堂筋ビル

御堂筋のかつてのまちなみの遺伝子を更に引継ぎ風格と親しみを生み出し、歴史や周辺環境と呼応する点が評価

大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)について

表彰式



賞状贈呈の様子①
(大阪府知事賞)



賞状贈呈の様子②
(大阪市長賞)



集合写真

パネル展

